第６学年１組　社会科学習指導案

□年□月□日　（水）

第２校時　場所　６年１組教室

在籍児童数　　　　　　□人

指導者　　　　　　　□□　□□

１　単元名　　明治の国づくりを進めた人々

２　単元について

　（１）児童の実態

本学級の児童は、積極的に授業に臨み、発言をする児童も多く見られる。しかし、発表の内容に着目するとただ発言しているに過ぎず、どのようにすれば聞く人にとってわかりやすいのかなど、「伝える」という意識が低い。また、聞く方も自分の考えと同じか違うかを考えているに過ぎず、建設的な意見の交流には至っていない。

（２）単元について

本単元は、小学校学習指導要領解説・社会編の第６学年の目標（１）　内容（１）キ「黒船の来航、明治維新、文明開化などについて調べ、廃藩置県や四民平等などの諸改革を行い、欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことが分かること。」をねらいとしている。

　（３）指導について

指導に当たっては単元全体では「つかむ」過程で、写真や絵図を比べて、江戸から明治へどのように変わったのか考えるようにし、単元全体の見通しをもたせたい。また、「調べる」過程では江戸から明治への移り変わりの様子について、人物相関図や書籍などの資料を活用して、自分の言葉で表現できるようにさせたい。また、知識構成型ジグソー法で授業を展開し、一人一人に考えを持たせ、資料を活用したり、相手の表情を見ながら発表させたりするとともに、個人、グループ、学級全体と学習形態を変化させて、児童の知識・理解をより深められるようにしていきたい。

３　小単元の目標と評価規準

　　黒船の来航、明治維新、文明開化と時代が変化し、明治政府が廃藩置県や四民平等、大日本帝国憲法の発布などの諸改革を行ったことを通して、我が国が欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことが分かるとともに、それらにかかわる人物の願いや働き、文化遺産の意味を考える。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 社会的事象への関心・意欲・態度 | 社会的な思考・判断・表現 | 観察・資料活用の技能 | 社会的事象についての知識・理解 |
| 黒船の来航、明治維新、文明開化、大日本帝国憲法の発布に関心をもち、それらを意欲的に調べている。 | 黒船の来航、明治維新、文明開化、大日本帝国憲法の発布について、調べてことを比較したり関連づけたり再構成したりして、人物の願いや働きなどを考え、適切に表現している。 | 教科書や資料集、写真などの基礎的資料を活用して、黒船の来航、明治維新、文明開化、大日本帝国憲法の発布について必要な情報を集め、読み取っている。 | 廃藩置県や四民平等などの諸改革を行い、欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことが分かっている。 |

４　指導計画（８時間扱い）

　①写真や絵図を比べて、江戸から明治へどのように変わったのか話し合う。

　②江戸から明治への変化について話し合い、学習問題をつくり、学習計画を立てる。

　③明治維新を進めた人々は、どのような思いをもっていたのか調べる。

　④⑤明治政府は、どのような国づくりをめざしたのか調べる。（本時　２／２時）

　⑥政府の改革に不満を持つ人々は、どのような行動をとったのか調べる。

　⑦伊藤博文は、どのような思いをもって大日本帝国憲法をつくったのか調べる。

　⑧調べてきたことをふまえて、人物を選び、業績や新しい時代への思いについて新聞にまとめる。

５　本時の学習指導（５／８時）

1. 研究主題との関わり

研究主題「自他の違いやよさに気付き、人とのかかわりを大切にする共和っ子の育成」

　　　　　　　　～認め合い、伝え合い、学び合う指導法の工夫を通して～

・友だちの発表を聞くことで自分の知識を深め、協働することのよさに気づくことができる。

（２）目標

　　　・諸改革の意味などについて、適切に表現し、わかりやすく伝えている。（思考・判断・表現）

（３）展開

本授業は知識構成型ジグソー法で学習を展開し、２時間扱いで行う。前時では、「エキスパート活動」を行い、児童を「廃藩置県」、「殖産興業」、「徴兵令」、「地租改正」の４つのグループに分け、一人一人に十分に知識をつけ、グループでどのような発表をするのか話し合い、発表資料を作成する。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 学習活動 | 学習内容 | 指導上の留意点○  （評価◎、人権教育上の配慮☆） | 資料・準備 | 時間 (分) |
| １　問題を知る。  ２　本時のめあてを確認する。  ３　ジグソー活動を行う。  ４　クロストークを行う。  ５　本時のまとめをする。  ６　本時の振り返りをする。 | 問題の把握  明治政府は、新しい国づくりのためにどのような改革をしたのでしょうか。  めあての確認  明治政府が行った改革について、調べたことを発表し合い、考えを深めよう。  ジグソー活動  知識の統合  アドバイスの視点  ・聞きやすい声の大きさか  ・視覚に訴えているか  ・堂々と発表しているか  ＜廃藩置県＞  藩と領民を天皇に返し、全国を府と県に分けた。  ＜殖産興業＞  模範的な製糸場をつくった。  ＜徴兵令＞  全国の２０歳になった男子が兵役につく。  ＜地租改正＞  土地の価格の３％を現金で納める。  クロストーク  知識の統合  学習のまとめ  振り返り  学習の定着 | ○前時の学習を振り返り、本時の学習の見通しを確認する。  ○前時に調べ学習と発表の資料作りを行ったことから、本時は発表し合い、知識を統合していく授業であることをおさえる。  ○異なる内容について調べた４人がグループを作り、発表し合う。  ○発表をする際には絵やグラフなどの資料を活用して、言うのではなく伝えるということに気を付けさせる。  ○発表を聞く際にはメモを取らずに目や資料を見ながら聞くように指導する。  ○発表が終わったら、質問する時間を設け、知識をさらに深めるようにするとともに、わかったことや気づいたことをメモさせる。  ☆友達の発表の様子についてアドバイスさせる。  ◎諸改革の意味などについて、適切に表現し、わかりやすく伝えている。  ☆発表が苦手な児童には資料の裏にメモを書かせ、メモをヒントに発表させる。  ○グループごとに知識を統合させ、わかったことや気づいたことをまとめるようにする。  ○グループの代表がわかったことや気づいたことについて全体で発表し、意見交換を行うことで、新たな気づきができるようにする。  ○２時間の授業を通してわかったことをまとめる。  明治政府は諸外国を見本に改革を行い、富国強兵の国づくりを進めた。  ○友達の発表を聞いて深まったことについて自分の言葉でまとめ、学習の定着を図る。 | ノート  各自の発表資料  メモ用紙 | １  ２  ２６  ８  ３  ５ |

６　板書計画

（流れや時間の目安）

○○さんの発表を聞いて…

ふり返り

明治政府は諸外国を見本に改革を行い、

富国強兵の国づくりを進めた。

まとめ

（地租改正）

（徴兵令）

（殖産興業）

（廃藩置県）

明治政府が行った改革について、調べたこと

を発表し合い、考えを深めよう。

めあて

明治政府は、新しい国づくりのためにどのような改革をしたのでしょうか。

10／5